

## 安芸地域本部 地域産業クラスターの進捗状況等

### 農業⑤ 日本一のナス産地拡大プロジェクト（安芸市）

#### 【H29の主な取組】 ※プラン策定（H29.3）

- 1次：全農による次世代型ハウス完成(1ha：H29.4末)  
 (株)アグリード土佐あき(33a)、安芸市サポートハウス(16a×4棟)、JAサポートハウス(16a)での栽培
- 2次・3次：道の駅大山の改修(H29完了)と併せ、観光面との連携を強化し、既存の「ナスのたたき」、「焼きナスアイス」、「ナスまん」等の活用と、新メニューや加工品の開発に向けた検討

#### 【H30年度上半期の取組状況と課題】

次世代型ハウスの生産開始と、幕末維新博イベントと連携した消費拡大への取り組み検討

##### ▼取組状況

- 1次：次世代型ハウスの定植（土耕8/16、養液8/27）
- 2次・3次：・ナス料理店マップ作成（8,000部）  
 ・あきナス6次産業化PT会の開催(6/15、8/21)  
 「ナスたたき」について安芸市内飲食店へアンケートを実施  
 ・「なすまん」6次産業化セミナーに参加(6/14、7/26)

##### ▼課題

- ・全農の次世代ハウスにおける労力確保(パート等)
- ・安芸産ナスが安芸市内に安定的に供給される仕組みが出来上がっていない

#### 【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：環境制御技術の導入面積の拡大
- 2次・3次：・地域食材としての「安芸ナス」を、地域内で認知度を上げる取り組みを実施する予定  
 ・道の駅大山での新メニュー、おみやげ品(ナス)開発

### その他① 奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター（奈半利町）

#### 【H29の主な取組】

- 全体：集落活動センターの運営主体(一社)なはりの郷の経営計画書を策定（H30.2）
- 1次：農作業受託、不耕作地の解消、施設栽培（ナス）開始
- 2次：農水産加工施設(奈半利のおかって・加領郷魚舎)の売上高 H29：58,209千円
- 3次：物産館無花果の管理運営、観光振興事業（観光ガイドブック作成等）の実施

#### 【H30年度上半期の取組状況と課題】

就農研修施設の活用による担い手の確保、農水産物や加工品の集出荷体制の強化、奈半利町通販サイトを活用した販路拡大

##### ▼取組状況

- 1次：・農業関係部門協議（5回）  
 ・農畜産物集出荷センターの運営開始（H30.4～）  
 ・農作業受託作業（畦塗り、田植等：39件）  
 不耕作地解消（ジャガイモ、キュウリ、イチジク、水稻等の栽培）、施設栽培の継続
- 2次・3次：加工グループによる新商品開発、イベント出店、観光部会の開催（3回）

##### ▼課題

- ・農業部門における栽培技術の向上
- ・加工グループの人材確保、販路拡大
- ・通販サイトの認知度向上

#### 【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：新規就農者の育成、農作業受託・不耕作地解消事業、施設園芸の継続
- 2次・3次：新たな販路拡大のための既存商品の磨き上げ及び新商品の開発、観光パンフレットの作成

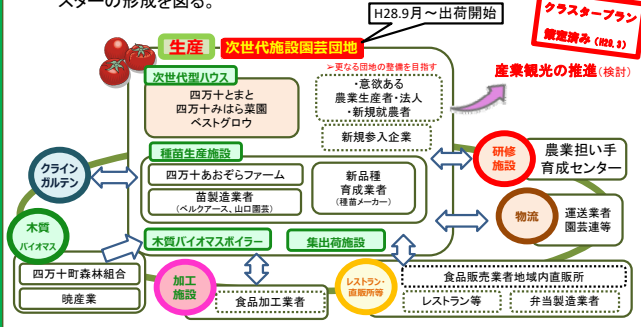
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

# 地域産業クラスターの形成 (展開図) ①

## 【農業】

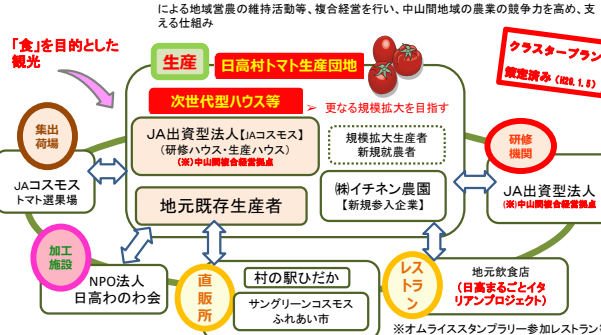
### ① 四万十次世代モデルプロジェクト(四万十町)

・次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



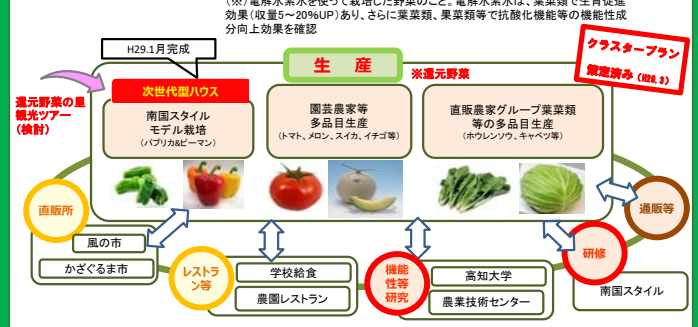
### ② 日高村トマト産地拡大プロジェクト(日高村)

・日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点(※)の整備も併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



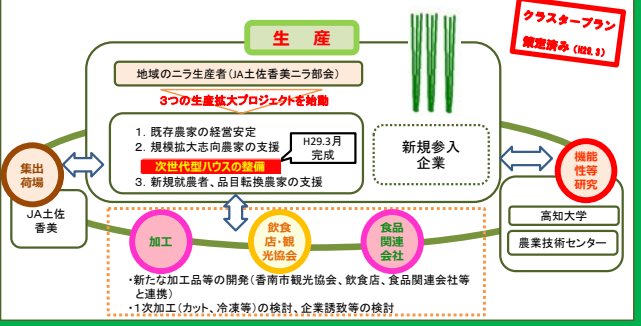
### ③ 南国市還元野菜プロジェクト(南国市)

・JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜(※)」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。



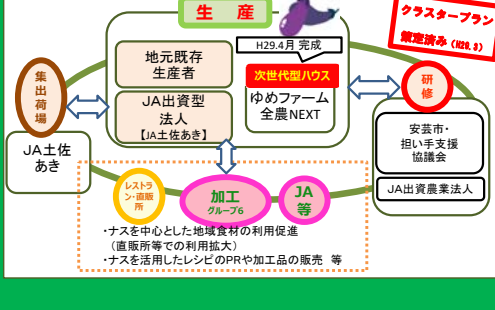
### ④ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市・香美市)

・日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れた新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。



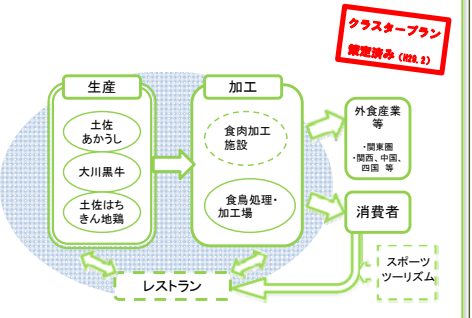
### ⑤ 日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

・県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。



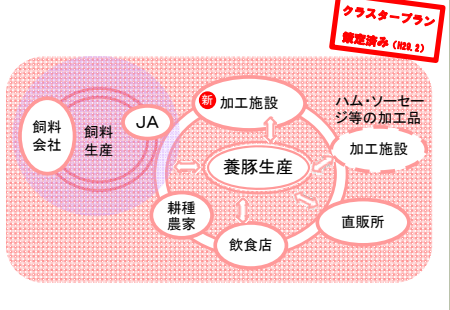
### ⑥ 横北畜産クラスターによる地域の活性化(横北地域全域)

・「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さくら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



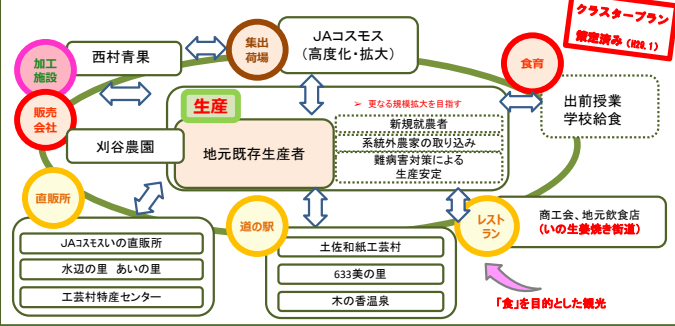
### ⑦ 四万十ポークブランド推進プロジェクト(四万十町)

・養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。



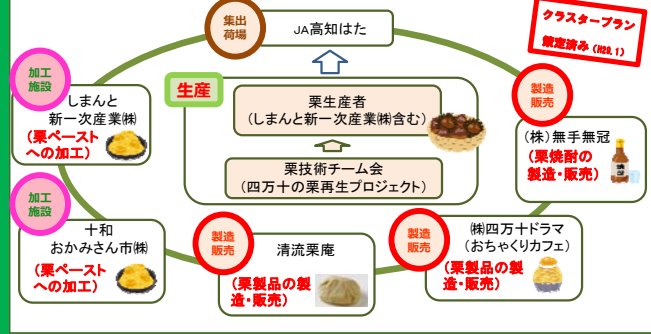
### ⑧ いの町生養生産・販売拡大プロジェクト(いの町)

・いの町の生養生産農家を中心として、生巻の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



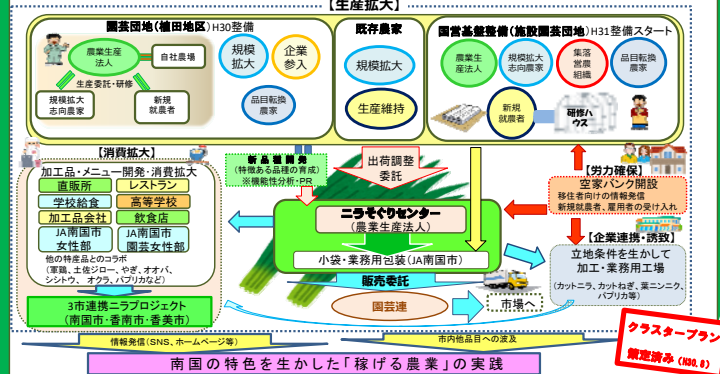
### 農業⑨ 四万十の栗プロジェクト(四万十町)

・四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。



### 農業⑩ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(南国市)

・農業生産法人が運営するそぐりセンターを活用し、地元農家や企業参加による生産拡大を図るとともに、直販所、レストラン、商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



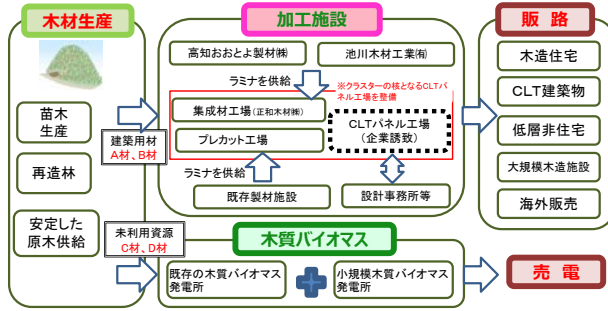
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

# 地域産業クラスターの形成 (展開図) ②

## 【林業】

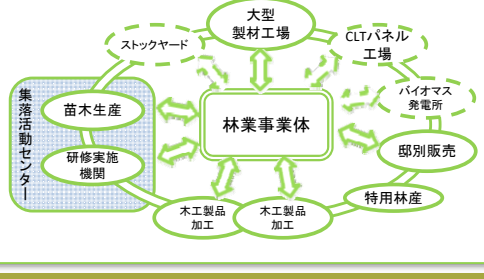
### ① 林業・木材産業クラスタープロジェクト(県下一円)

・木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。



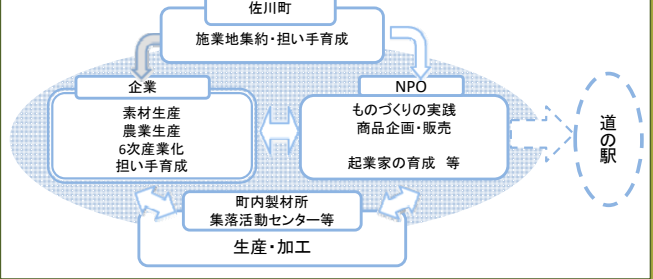
### ② 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域全域)

・嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。



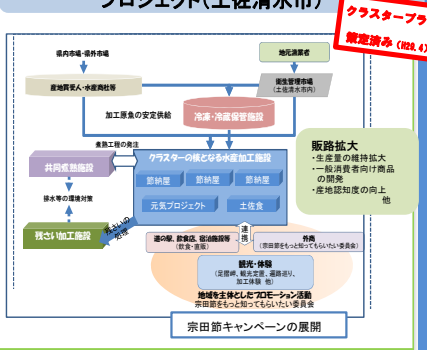
### ③ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

・自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。

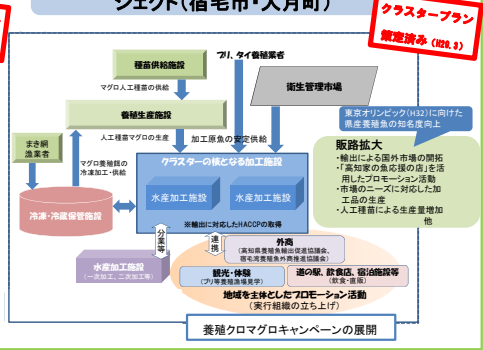


## 【水産】

### ① 土佐清水水産加工産業クラスタープロジェクト(土佐清水市)

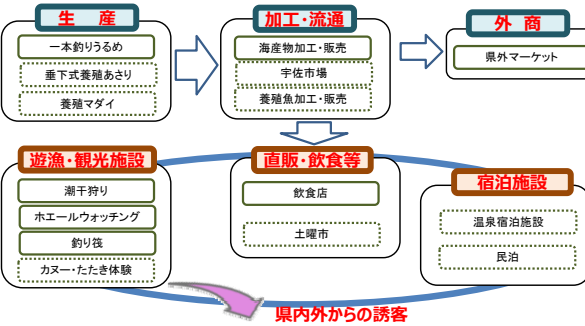


### ② 宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト(宿毛市・大月町)



### ③ 宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト(土佐市・須崎市)

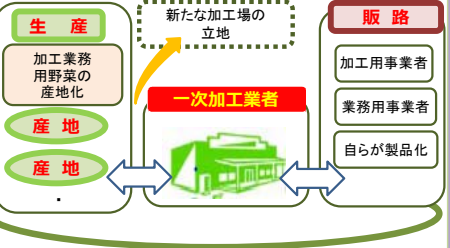
・うめいわし、あさり、ブランド真鯛の水産資源を活用した加工業や、ホエールウォッチング、釣り筏などの遊漁、周辺の宿泊施設等が連携してクラスターの形成を図る。



## 【食品加工】

### ① 加工・業務用野菜の産地化プロジェクト(県下一円)

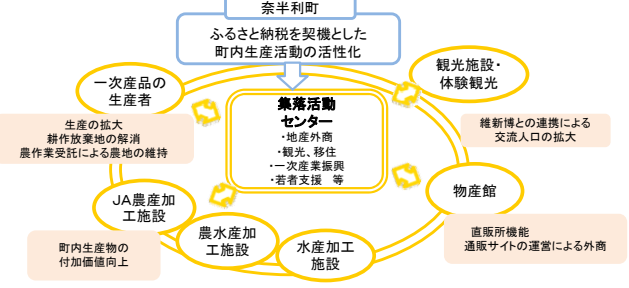
・需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化を進め、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。



## 【その他】

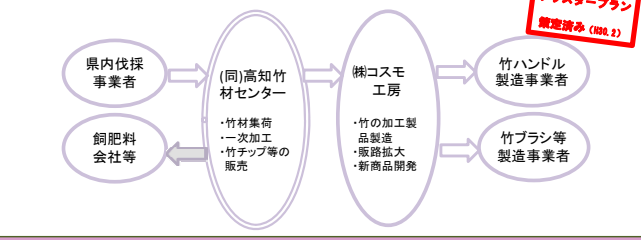
### 奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター(奈半利町)

・集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。



### 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)

・県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。



### 株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

・新工場整備によって生産能力を向上させ、県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大を図る。あわせて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。

